

変質灯油による石油ストーブの事故

事故の概要

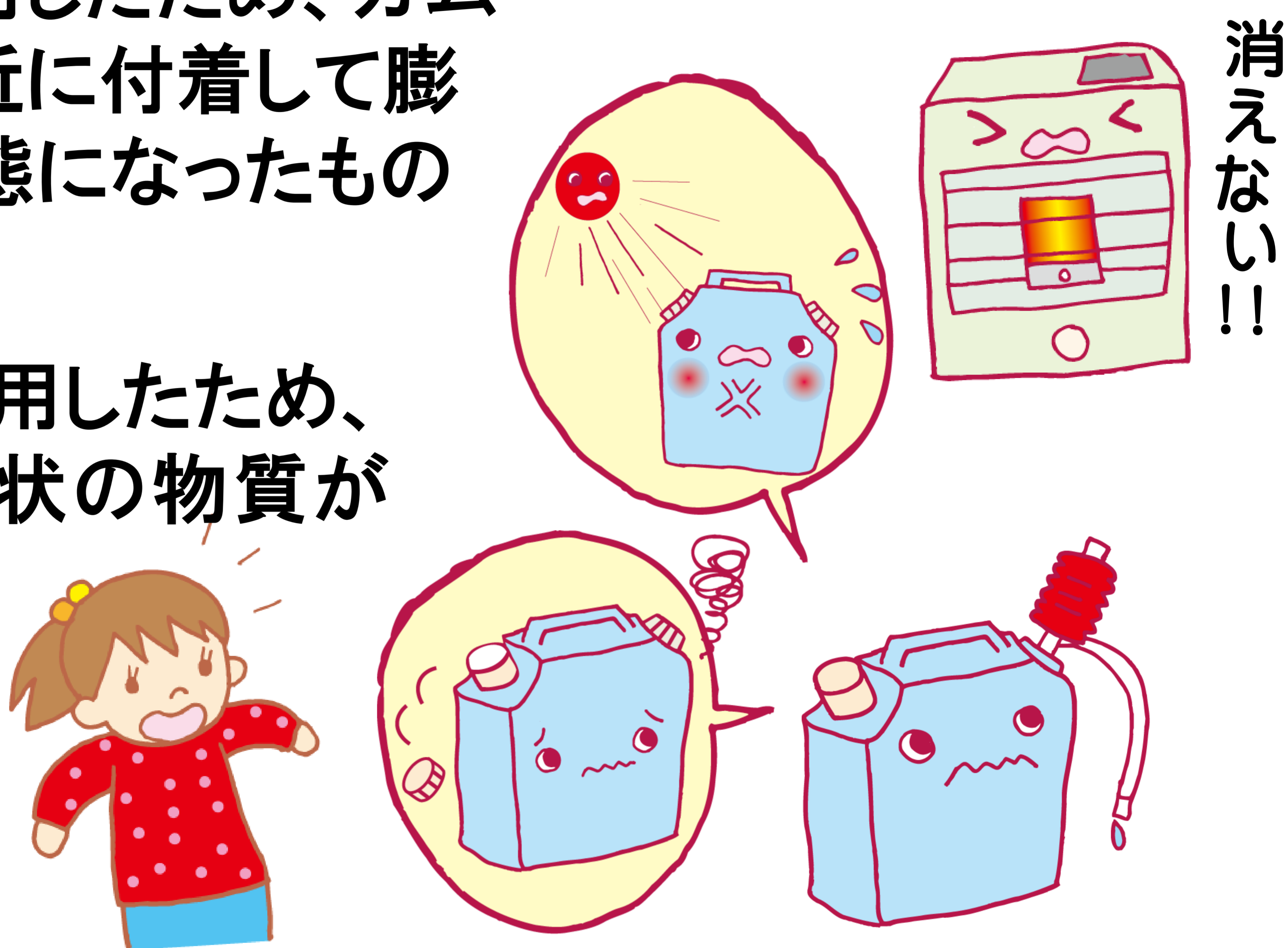
【事例①】石油ストーブを使用中、炎が大きく上がった。その後、おさまったが、消火ボタンを押しても消えなくなった。

【事例②】石油ストーブの消火ボタンを押してから外出し、家に戻ると火が消えていなかった。

事故の原因

【事例①】変質灯油を使用したため、ガム状の物質が芯の先端付近に付着して膨らみ、芯が下がらない状態になったものです。

【事例②】変質灯油を使用したため、芯先端部に多量のガム状の物質が付着して固まり、芯が所定の消火位置に戻らず、完全消火できない状態になったものです。



事故防止のために

- ◆ 灯油は、シーズン中に使い切り、持ち越さないでください。
- ◆ 灯油を保管する場合は、
 - ・ できるだけ色の濃い容器に入れてください。
 - ・ 日の当たらない暗所で保管してください。
 - ・ 容器のふたをしっかりと締めてください。

変質灯油を使用すると…芯式石油ストーブが消火不良となることがあり、場合によっては火災などにつながる恐れがあります。

